

2023年度
事業計画書

自 2023年4月 1日
至 2024年3月31日

公益財団法人しまね海洋館

I 管理／運営計画の部

1 はじめに

当法人は、2000年（平成12年）に島根県が設置した、島根県立しまね海洋館の管理運営を通じて、多くの人々が日本海の自然や生態とふれあい、楽しく過ごす場を創造し、賑わいの創出や新たな民間活動の誘発により地域の活性化に寄与するとともに、水族の保護、保全を含めた豊かな海洋自然の大切さについて普及啓発をしております。

【展示】【接客】【営業】【地域連携】【地域貢献】の5つを主要事業とします。

【展 示】トビウオ、サメ、ペンギン、シロイルカをはじめとする約400種 10,000点を神話の海やコーラルリーフ、ペンギンプール、別館シロイルカ繁殖プールやシロイルカパフォーマンスプールなど大小54ある水槽に創意工夫を凝らした魅力あふれる飼育展示を展開いたします。また生物の繁殖や生息域内外の保全に努め水生生物の魅力を伝えてまいります。

【接 客】多くの来館者へ心のこもった「おもてなし」の接客をおこない、新規顧客やリピーターの確保に努めてまいります。

【営 業】当館の魅力的な展示生物を全国や世界に発信し、集客につなげる積極的な営業活動の展開に努めてまいります。

【地域連携】地域に愛され必要とされる水族館を目指し、地域の活性化に貢献してまいります。2021年度秋より実施している「障がい者就労支援」やJRとの連携による取り組みなど、地域の資源を生かしながら地域課題の解決に資する地域連携事業を継続するとともに、新たなイベント/企画を通じた様々な連携を構築してまいります。

【地域貢献】島根県立しまね海洋館は「島根県西部の活性化」を設立目的としております。学習支援施設/社会教育施設という使命を持つ水族館として、次代を担う子どもたちへの「深い学び」の提供に努めるとともに、県内外から来館される多くの皆様に「笑顔と感動」をお届けし、地域経済の活力維持に貢献してまいります。

上記5つの主な事業を着実に推進し、持続可能性を高めていくことが必要であると考えます。そのうえで、アクアス来館者の「基礎的な需要」でもある、地元からの応援者、アクアスファンを確実に獲得していくための取り組みに力点を置いて進めます。

特に地元からの応援指標の一つでもある「年間パスポート会員」の拡大や「子育て世帯」を意識した取り組み、「地域連携」の取り組みを推進し、「地域に愛され必要とされる水族館」を目指した様々な取り組みを着実に進めるとともに2年後に迫る「大阪・関西万博」の影響も想定しながら、確かな「基礎固め」に資する取り組みを推進します。

島根県立しまね海洋館は、「社会教育施設」という役割の一つとして広く利用者の方へ「SDGs」の普及啓発に積極的に取り組んでいます。SDGsにある目標「質の高い教育をみんなに」を達成するため、主に学校教育の中で来館困難な生徒・学生の皆さんにICTを用いて水族館を利用した教育の提供も充実させていきます。また普段おこなっている教育活動の中でもSDGsに関わる内容を加えて取り組んでいきます。

2 年間入館者について

来年度の年間入館者目標は以下の表のとおりとなっております。

区分	2019年度 (R1)実績	2020年度 (R2)実績	2021年度 (R3)実績	2022年度 (R4)見込み	2023年度 (R5)見込み
総入館者数 (対前年比)	346,004人 (103.7%)	209,551人 (60.5%)	254,454人 (121.4%)	340,000人 (133.6%)	350,000人 (102.9%)
有料入館者数 (対前年比)	269,563人 (106.3%)	164,168人 (60.9%)	200,266人 (121.9%)	267,000人 (133.3%)	274,000人 (102.6%)
無料入館者数 (対前年比)	76,441人 (95.5%)	45,383人 (59.3%)	54,188人 (119.4%)	73,000人 (134.7%)	76,000人 (104.1%)

3 開館計画

(1) 開館日

2023年度開館予定日数：325日（条例上は319日）

①条例で定められた休館日については記載のとおりとなっております。

- ・火曜日。火曜日が祝日の場合は、翌平日。
(但し、4月30日～5月2日、7月21日～8月31日、
12月28日～12月30日、1月2日、1月3日は開館)
- ・12月31日、1月1日

②条例で定められた休館日のうち、下記の計6日間については収益が見込めるため開館いたします。

- ・2023年 4月4日、5月2日、12月26日、12月31日
- ・2024年 1月1日、3月26日

(2) 開館時間

①条例で定められた開館時間

- ・通常期（4月1日～7月19日、9月1日～3月31日） 9:00～17:00
- ・夏休み期間（7月20日～8月31日） 9:00～18:00

②上記にかかわらずゴールデンウィーク、夏休み期間など繁忙期は入館者の状況を見ながら営業時間の繰り上げや延長をおこなってまいります。

4 職員体制

2023年度職員数につきましては、館長以下54名体制で運営してまいります。

水族館の根本である「飼育/展示」の充実はもちろん昨年度より始めた地域連携への取り組みも発展できるよう区分の垣根を超えた協力体制をつくりながら運営していくとともに、誰もが働きやすい職場環境づくりに努めてまいります。

設備管理課については、実態に合った名称に改めることとし、これまで同様「設備管理」業務に努めます。

また島根県立しまね海洋館で飼育中の成獣シロイルカ5頭は、推定年齢24歳を超え、今後の健康管理にはこれまで以上に多大な時間を要することが予想されます。ペンギン類もその羽数はオープン時より倍に増え当初よりも獣医業が増えています。さらに近年では動物園/水族館での動物福祉に対する取り組みも注目され、動物福祉に配慮が必要なものの中には「獣医業」に関する事案が多くあることから「動物管理（獣医業務）」を適正に対応できるよう体制を見直します。

このため「設備管理」「動物管理」の専門部門として新たに「管理監室」を設置いたします。

区 分	正 職 員		契約職員	パートタイム職員	計	備 考
	技術職	事務職				
館長・地域連携推進室長（兼務）		1名			1名	・常務理事兼務 ・室長事務取扱
魚類展示課	5名		5名	2名	12名	障がい者雇用1名
海獣展示課	7名		12名	1名	20名	
経 営 課		6名	12名		18名	
地域連携推進室		(1名)			(1名)	現行部署の業務を兼務
管理監室	3名				3名	(新設) ・設備管理監 ・副設備管理監 ・動物管理監
計	15名	7名	29名	3名	54名	

5 職員採用計画

2023年度は、水族館施設だけでなく社会教育施設、地域に必要とされる施設としての質も落とすことのないよう経営状態を見極めながら職員体制の充実/強化を図るなど、更なる飛躍を目指した中/長期的な採用計画を策定してまいります。

6 施設外就労

2021年度より始めた障がい者施設外就労を2023年度も継続し、施設利用者の社会進出の手助けに貢献してまいります。さらに最初の取り組みである別館シロイルカの調餌業務だけでなく施設利用者の方々が取り組める事業について関係各所と協力体制をとりながら、その可能性を広げていく取り組みを進めてまいります。

Ⅱ 事業の部

1 公益事業

(1) 接客業務事業

①接客/接客業務体制

アクアメイト 7 名、接客補助契約職員 3 名の合計 10 名体制で対応してまいります。

②アルバイト

近年確保が非常に厳しい状況となっておりますが、来館者が多く見込まれる日を中心に近隣の大学や専門学校の学生を中心に幅広く募集しサービス向上に努めてまいります。

(2) 集客対策事業

集客対策事業については、春～夏の期間だけでなく秋季以降も積極的に誘致をおこないます。特に冬期は、地元からの応援者や年間パスポート所持者、子育て世代などの獲得に繋げ、年間入館者数の平準化を目指してまいります。障がい者手帳をお持ちの方 1 名につき、その等級に関わらず介護者（同伴者）を 1 名無料といたします。

①送客誘致事業

エージェントへの団体客誘致活動について、下記を重点として積極的におこなってまいります。また首都圏（関東圏）からの誘致に向けて、萩・石見空港や周辺団体等と連携/協力して取り組んでまいります。

- ・島根県観光連盟、各種協議会などが実施するエージェント招致事業など
- ・島根県東部及び鳥取県西部
- ・集客重点地域である山陽方面（広島、岡山）及び山口、愛媛、香川県のエージェント
- ・学校団体などの教育利用
- ・生協ひろしま、生協しまね、マツダ労働組合及び私学共済や他の共済組合/団体

②各種観光キャラバンへの参加

島根県、島根県観光連盟、浜田市及び江津市観光協会などが実施する観光宣伝事業とタイアップし、積極的な宣伝や街頭活動を実施してまいります。

③周辺施設と連携した魅力ある誘客対策

石見ツーリズムネット（2023 年度予定：23 施設加盟）などと連携し、魅力ある周遊型商品の開発、石見地方のご当地グルメ（神楽めし）の開発などの取り組みにより島根県観光連盟、地元観光協会及び地元行政などと協力を図るとともに首都圏とダイレクトにつながる萩/石見空港との連携による石見地域への誘客を図ってまいります。

④島根県立しまね海洋館公式 SNS

Facebook、Instagram、Twitter を活用し、旬な情報を提供するため引き続き情報発信してまいります。

(3) 広告宣伝事業

新たに導入された館内 5 か所のプロジェクションマッピングやシロイルカによるパフォーマンス、県魚であるトビウオの通年展示をはじめ島根の海から世界の海へのコンセプトのもと多種多様な展示やきめ細かく充実した教育プログラムなどを広く宣伝し更なるアクアスの魅力と楽しさを伝えてまいります。

また、以下の重点期間/重点地域を中心に電波媒体/紙媒体/インターネットを使い、広報や宣伝に努めてまいります。

①広報宣伝期間

重点期間

- ・4月中旬～ゴールデンウィーク
- ・7月中旬～8月の夏休み期間
- ・冬休み期間及び年末年始
- ・閑散期から春休みに向う3月中旬～
- ・その他の期間

館内イベントや周辺施設/地域イベントの実施にあわせ相乗効果が期待できる時期

②広報宣伝地域

最重点地域

- ・島根県、広島県及び岡山県を中心とする山陽方面

主要地域

- ・鳥取(山陰エリア)及び山口、愛媛、香川方面

その他

- ・萩・石見空港の東京利用者の獲得のため関東エリア

③主たる広告宣伝事業

電波媒体広告(テレビ/ラジオなど)としては、ゴールデンウィーク、夏休みを中心に広告展開を実施し、単にCM広告だけでなく、各放送局の情報番組(パブ出演)や、放送局エリアでの街頭宣伝活動などとセットでキャンペーンを実施してまいります。

紙媒体広告(旅行雑誌/新聞など)としては、山陰、山陽地区の新聞や有力なタウン情報誌を中心に集客時期を考慮して広告展開するとともに、割引クーポン及び読者プレゼントなどを効果的に利用し、積極的に促進に取り組んでまいります。

電子媒体広告としては、インターネットやSNSを利用した広告、宣伝を強化していきます。また、スマートフォン広告、Yahooディスプレイ広告を活用して集客の最重要ターゲットである子育て世代(20~40代)を中心に広告展開を実施してまいります。

(4) 来場者対策事業

従来おこなってきたものについて、国や県の対処方針も踏まえつつ状況に応じた対策をおこなっていき、来場者が安心して安全に楽しんでいただけるように努めます。

- ・中央広場への日よけテント設置(入館チケット購入待ち列対策)
- ・アクアス広場への日除け大型テント設置(パフォーマンス待ち列対策、熱中症予防)
- ・シロイルカパフォーマンス入場予約システム導入(待ち列対策)
- ・来館者サービスとして団扇制作
- ・GWなど多客日の安全対策として館内に警備員配置
- ・GWやお盆期間の超多客日に対応した受け入れ態勢の慎重な取り組み
- ・インバウンド対策として多言語音声ガイドや翻訳機の利用

(5) 集客対策事業

①アクアスを盛り上げよう委員会(AMI)の取り組み

3課6係2室の全てより募集した職員による「アクアスを盛り上げよう委員会(AMI)」を組織し集客力の向上と、より豊かな水族館事業を実現するため一過性のイベントだけでなく、アクアスの魅力が継続的に底上げされるようなイベントを計画、実施してまい

ります。

②年間パスポート購入数/利用数を増やすための対策事業の実施

アクアスのファンを広げるため、何度でも足を運んでいただけるよう年間パスポートの販売をおこない、特に子育て世代を中心に増やす取り組みを進めてまいります。また子育て世代が、平日に利用していただけるように「アクアス☆ゆったり親子の会」や「年間パスポート会員限定イベント（ファンクラブの日）」などのイベントを継続して開催してまいります。

令和5年度開催予定

アクアス☆ゆったり親子の会	17回/年
年間パスポート会員限定イベント（ファンクラブの日）	12回/年

(6) 水族収集/飼育/展示事業

生物の適正な収集をおこない、生物の過ごしやすい環境をつくるため、飼育展示環境の適正な維持管理及び飼育資機材の適正購入等に努めてまいります。

①生物の収集

- ・シロイルカについて野生個体の導入は極めて困難であり、これまで搬出先であったロシアにおいても今後の搬出は望めない状況となっている。しかし、血統管理、展示生物の確保の面から新たな血統は将来的に必須であり、新たな血統個体確保の可能性を探る観点から、国内の飼育園館と良好な関係を堅持しながら協力関係を継続してまいります。
- ・ペンギン類については、キタイワトビペンギンの入手が困難なため収集の機会を逃さないよう国内の飼育園館の状況を把握し、良好な関係を堅持しながら収集を継続してまいります。また、オウサマペンギン、フンボルトペンギン、ジェンツーペンギンに関して血縁関係により血統管理の面から国内の飼育園館の状況を把握し、良好な関係を堅持しながら収集、交換などを積極的におこなってまいります。
- ・カリフォルニアアシカについては、当館での繁殖を進めるとともに国内の飼育園館の状況を把握し、良好な関係を堅持しながら交換など積極的におこなってまいります。
- ・ゴマフアザラシについては、現在飼育している全ての個体は血縁関係にあり、現状では繁殖活動ができない状況であります。血縁関係のない新たな雌雄の個体の導入を進め、繁殖活動が実施できるよう国内の飼育園館の状況を把握し、良好な関係を堅持しながら収集の機会を逃さないように努めてまいります。
- ・展示生物については、近在の漁業協同組合、地元漁業者、活魚業者、他園館との連携を強め、引き続き良好な関係を堅持しながら水生生物の収集に努めてまいります。

②生物の飼育

- ・飼育生物の体調管理、環境管理に留意し健全な飼育に努めてまいります。

③生物の繁殖

- ・飼育生物の健全な繁殖を目指し飼育環境の整備に努め、種の保存に貢献してまいります。
- ・魚類展示課担当生物においては、(公社)日本動物園水族館協会の繁殖賞を5種の飼育生物について受賞しており、種の保存事業に大きく貢献しているところであり、他飼育生物についても更に飼育環境を整え1種類でも多く自家繁殖ができるよう繁殖技術の確立を目指してまいります。
- ・2014年以来シロイルカの繁殖がないため積極的に取り組み、シロイルカの繁殖技術の確立を目指してまいります。
- ・2020年2月28日に生まれたゴマフアザラシ(オス、愛称:だいふく)は順調に成長しております。今後は新たな血統の導入を進めゴマフアザラシの繁殖を積極的に進めてまいります。

- ・2020年7月30日に生まれたカリフォルニアアシカ（メス、愛称：ニコ）は順調に成長し、2022年7月14日に他園館にブリーディングローンでの搬出をいたしました。搬出先での新たな繁殖に期待するとともに、今後もカリフォルニアアシカの繁殖に積極的に取り組み、繁殖技術の確立を目指してまいります。
- ・ペンギン類について、順調に増えている種に関しては、当館のみの飼育数の増加だけでなく他園館との連携をとり、積極的に交換やブリーディングローンを実施し繁殖が促進されるよう環境を整えるなどして国内全体として種の保存に努めてまいります。また、オウサマペンギンはすでに国内の他園館と連携しブリーディングローンなどにより繁殖推進の取り組みを実施し、結果も出ております。今後もさらなる努力をしております。

④ 生物の調査/研究

島根県隠岐の島の固有種であるオキサンショウウオ、及びオキタゴガエルの生息域調査を実施し、繁殖技術の確立を目指し域外保全に努めてまいります。また島根県指定希少野生動物であるミナミアカヒシタビラの生息域調査を実施し、繁殖技術の確立を目指してまいります。

さらに日本獣医生命科学大学の飼育下魚類の病理組織学的研究に検体の提供協力をおこなってまいります。また長崎大学海洋未来イノベーション機構の次世代養殖戦略会議と連携し、試料生物の提供協力をおこなってまいります。

その他の調査

- ・ダイオウイカ、ウミガメ、鯨類、鰭脚類などのストランディング（水生生物の漂着）
- ・ウミガメの上陸、産卵調査
- ・島根県西部における特別天然記念物オオサンショウウオの生息調査

(7) 学習交流事業

① 教育事業

《ボランティアの育成/支援事業》

当館のボランティア組織「アクアサポーター（2022年12月22日現在34名）」は、教育事業の支援や教室の開催を主体とした活動をおこなっております。事業補助のほかに、自主活動の計画立案と実施をおこなえる環境を整え、積極的な活動を促します。

また、他組織の視察や水生生物に関する研修を企画し、活動の質を高めると共に、得られた知見を自主事業として反映させられるよう支援してまいります。さらに、一定の要件を満たした活動においては昼食などを支給し、活動しやすい環境の充実に努めてまいります。引き続き新規アクアサポーターの募集及び研修をおこない、登録希望者は通年で受け入れてまいります。

《企画運営事業》

各種教育活動

- ・学校団体など（子供会/他団体含む）来館時のプログラム実施
- ・環境教育プログラムの実施（総合的な学習の時間に対応）
- ・体験学習/教育実習などの受け入れ
- ・学校と連携した出張授業や移動水族館の実施
- ・幼稚園/保育園などと連携した幼児教育への取り組み
- ・特別支援学校などと連携した教育活動への取り組み（ICT活用など）
- ・地域の環境教育活動の支援
- ・各種主催事業の企画/実施
- ・地域ESD拠点としての啓発/実践活動（SDGsカフェ、いわみっこ大作戦など）

② 各種教育プログラムの作成及び情報発信

- ・主催事業（体験スクールなど）の告知、チラシなどの作成、配布
 - ・学習プログラム紹介資料の作成、配布
 - ・学校教育利用支援のため県内小学校、中学校へ訪問
 - ・しまね海洋館活動報告書（年報）の作成、配布
 - ・しまね海洋館機関誌『神話の海から』の作成、配布
 - ・島根県自然系ミュージアムなどとの連携
 - ・県内社会教育施設や団体（美術館、科学館、教育委員会、公民館など）との連携
 - ・各種教育研修会への参加
 - ・各種教材の開発
 - ・県西部の環境教育指導者の育成とネットワーク構築、活動の場の提供
- ③教育用備品/消耗品の作成/購入
- ・オリジナル缶バッジなど、教育イベント宣伝物の作成
 - ・出張講座など教育プログラム用解説パネルなどの作成及び備品の購入
 - ・教育活動用図書及び図書コーナー蔵書の購入
- ④主催スクール事業
- | | |
|----------------------|--------------------|
| ・アクアス体験スクール（継続） | 夏休みを除く月 1～2 回 |
| ・わんぱく探検隊（継続） | お盆期間を除く夏休み期間 |
| ・サマースクール（継続） | 夏休み期間に 3～4 回程度 |
| ・ハガキに描こうアクアスの海（継続） | 11 月～(募集) 2 月～(展示) |
| ・みんなの知らないアクアスツアー（継続） | 1 月～2 月 |

(8) 地域交流事業

①地域交流イベント

県外から多くの来館者があることは当館としての強みでもあり、石見地方の魅力を県外の方に発信するための事業を、地域との連携を図りながら内容を検討して実施してまいります。

（開催内容案）

- ・地域の情報発信イベントへの参画（いわみんなど、継続）
- ・市町村の日（各市町村から PR 販売、ステージ発表など）
- ・自治体や地域グループの催事（こどもまつり、産業祭、マルシェなど）の誘致、共催
- ・水槽前コンサート/パフォーマンスなど

②地域連携事業の推進

地域において様々な事業に取り組んでいる機関等と連携し、地域活性化に取り組むとともに、子育て応援や子供の地域愛を育む事業を実施し、地域課題の解決に取り組めます。

地域や関係機関等と連携をするにあたり、自分たちには不足している知識を補い、調整を円滑に進めるため地域連携推進室に「地域連携推進アドバイザー」を新たに設置いたします。

【継続実施】

- ・別館シロイルカの調餌に加え、他部門における「施設外就労」の開拓
- ・昨年当館イベント「ナイトアクアス」にて実施した「就労体験プロジェクト」の定着化
- ・JR 浜田鉄道部と連携した鉄道利用と当館訪問スペシャルツアーの継続実施

- ・県内養護学校/県立大学/NTT ドコモ中国支店と連携したリモート校外学習の実証実験の継続/定着化

【新規事業】

- ・シニア層をターゲットに健康をテーマとした「健康コンテンツ」の開発/発信
- ・周辺自治体の子育て応援や人口減少対策等との施策連携の推進
- ・地元事業者を対象としたアクアス広場での地元産品販売
- ・JR と連携した情報発信（新山口駅等での共同 PR など）

③各種地域振興イベントへの支援

地域振興イベント協賛負担金

- ・江の川祭り
- ・浜っ子祭り
- ・はっしー広場イベントステージへの協賛（石見神楽の上演経費など）

④各種減免週間への対応

児童福祉週間、敬老週間、障がい者福祉週間、それぞれにおいて対象者に無料開放をおこなってまいります。

⑤アクアスファンクラブ会員への対応

「アクアスファンクラブ」会員を対象に、当館主催スクールの告知や会員限定スクールを実施します。当館のファンを増やし、愛される施設を目指すと共に、会員の増加を図ってまいります。

- ・機関誌『神話の海から』発行
（オリジナルアプリからのダウンロード/希望者には冊子を進呈）
- ・アクアス体験スクールなどの案内（WEB 配信および公式アプリニュース）
- ・年間パスポート会員特典
（毎月 10 日にイベント開催、スタンプサービス、オリジナル缶バッジプレゼント）
- ・公式アプリのダウンロードにより来館スタンプの付与
（来館した回数によりオリジナルグッズなどをプレゼント）

⑥子育て支援事業への取り組み

- ・未就学児を中心とした子育て家族を支援するためのイベント開催
（アクアス☆ゆったり親子の会）

(9) 特別企画展事業

水族館は、展示内容の変更が容易でないという性格上、特別企画展を計画的に開催し、展示に魅力と変化をもたせております。また、単なる生物展示のみでなく、環境学習や海洋資源の保護などの学習要素を多く取り入れた内容にも取り組んでまいります。

また、2024 年度特別展の計画を立て、2023 年度中に準備調査を実施してまいります。

《開催予定》

- ①前年度からの継続特別展『アクアス劇場』
2023 年 3 月 4 日～5 月 8 日（予定）
- ②第 1 回特別展『石見の清流』（仮）
2023 年 7 月～9 月（予定）
- ③第 2 回特別展『うろこアート』（仮）

2023 年秋～2024 年 1 月（予定）

④第 3 回特別展『ストランディング/海ゴミ/SDGs』（仮）
2024 年 3 月～5 月（予定）

（10）施設管理事業

①光熱水費管理

しまね海洋館は 2004 年 3 月に「エネルギーの使用の合理化に関する法律（省エネ法）」に基づく第二種エネルギー管理指定工場に指定され、エネルギー管理員の選任及び毎年の定期報告が義務づけられています。

今後も最適な機器の選定、及び運用を考え島根県と連携して省エネ機器の積極的な導入、機械設備の効率的な稼働をおこない、省エネルギーを目指し管理に努めてまいります。

高騰している電気代については、水槽照明以外を 2023 年度中の LED 化を目指し、県と緊密な情報共有をおこない、早期実現を図ります。また機器設備の更新においても省エネ化に繋がる機器類を選定し、より一層の使用電力の効率化/省エネ化を目指して努力してまいります。

②設備メンテナンス

水族館の飼育設備は、飼育生物の生命に直結する重要なものであり、空調、照明、展示情報、清掃などの施設管理は来館者の安全と満足度を高めるため重要なものです。

しかし、水族館の設備は海水を使用するため機器の経年劣化が激しく、塩害により耐用年数は短くならざるを得ない状況にあり、これまでのノウハウを生かしつつ、日常のメンテナンスを適切に実施し、より効率的かつ安全な管理をおこなってまいります。

《主なメンテナンス項目》

- ・設備管理保守点検
- ・清掃及び環境衛生管理
- ・中央監視装置・自動制御機器保守点検
- ・昇降機設備保守点検
- ・海水取水施設保守点検
- ・熱源設備点検清掃

（11）維持工事/修繕事業

2013 年度島根県において、施設の長期的な保全と利用者の安全を図るために、「長寿命化計画」が策定されました。実施期間である 2014 年度から 2033 年度までの 20 年計画（計画事業費約 60 億円）に基づき、施設の維持/修繕事業計画について島根県と緊密な情報共有、協議をおこない適切に管理してまいります。

また、オープンから 22 年以上が経過し、館内の設備及び建物の経年劣化が各所に見られ 2010 年度から突然の故障の際には柔軟な対応ができるよう緊急対応修繕費として設置者である島根県において実費清算することとなり、こちらにおいても島根県と緊密な情報共有をおこない来館者及び飼育生物への影響を最小限にとどめるよう努めてまいります。

①消防防火など緊急時への対策

2014 年 8 月より建物全体が防火対象物 16 項イ（消防法第 8 条第 1 項及び消防法施行

令第1条)に分類されました。施設の防火対策と避難訓練などを適切に対応し、来館者の安全を第一にした取り組みをおこなってまいります。

また、緊急時に設置しているAEDを使用した救命活動がおこなえる知識と技術を身につけ、迅速かつ適切な対応ができるよう公園及び館内で従事する他社も含めた全スタッフに救命救急講習を受講させてまいります。

2 収益事業

入館者の便益を図るとともに、公益事業などで水族館運営事業の一部の財源を確保するために適切な収益事業をおこなってまいります。また今後は下記以外にも新たな財源を確保できるよう幅広く検討してまいります。

- 飲料自動販売機/プリントシール機の運営管理
- ロゴマーク、キャラクターのロイヤリティーの管理
- カプセルフィギュアの販売及びクレーンゲーム など